



消防団たずね歩き

第24回兵庫県消防操法大会に参加して

8月5日、真夏の日差し厳しい中、第24回兵庫県消防操法大会が兵庫県広域防災センターで開催され、神戸市からは、消防団員4,000人を代表して、西消防団押部谷支団出場選手2チーム10人が出場しました。

訓練は、昨年9月の訓練開始式の後、前回参加チームの映像を見ることから始まりました。「この操法を我々のチームができるようになるのだろうか」と不安を抱く中、3日に1回の割合で訓練がおこなわれ、出場選手の選抜をおこないながら、操法の基本を身につけるべく、何度も反復練習を実施しました。そして午後8時から約2時間の訓練の回数は100回を超えるものとなりました。

寒さが厳しかった冬を乗り越え、3月から放水しながらの操法を開始しました。規律のある動きと各動作における減点項目に対応するという訓練内容とは相反する、時間短縮を目指すという要求にも選手は懸命に取り組みました。

そして5月に発隊式を迎え、大勢の来賓の皆さまに出席していただき、各消防団長、地元の皆さまなどが見守る中、消防操法を披露した後は、各来賓の方々からの心温まる激励の言葉に、参加選手の気持ちも一気に高まっていきました。

そんな中、選手たちの気持ちをさらに刺激したのは、各地区代表選抜の予選会の見学

でした。各地区代表出場選手の規律正しい動きを目の当たりにする中で、自分たちの操法に足りないものを懸命に研究し取入れるため、訓練をほぼ毎日実施するようになりました。

大会当日は、多くの方々が見守る中、両チームとも普段の訓練成果を存分に発揮することができました。

最後に、大会当日に応援に来ていただいた消防関係の方々、地域の皆さまに深く感謝申し上げるとともに、訓練指導していただいた指導員の方々に厚く御礼申し上げます。何よりも選手や支援団員のご家族の皆さまには、10カ月にわたる訓練への参加にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

西消防団押部谷支団は、この度の消防操法大会参加を通じて得た技術と経験、結束力を、今後は地域のため、家族のために役立てるべく、市民の安全・安心のため、ますます消防団活動を頑張っていきたいと思っております。

(西消防団押部谷支団 団員 水島俊英)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

